

地域と企業の未来を見つめる情報誌

# HRI

# REPORT

Hyakugo Research Institute

百五経営情報クラブ

ISSN 0914-0387

# REPORT

October 2020

No.178

# 10

特集

## withコロナの健康経営

トピックス

三重の酒が「地理的表示(GI)」に指定されました

企業紹介

医療法人(社団)佐藤病院

三重化学工業 株式会社

Photo / 「傘鉾祭り」





連の改革の中で、健康面に関して最初に導入した制度が「禁煙手当」。タバコを吸わない社員全員に対し月額3,000円を支給している。おかげで現在社内の喫煙者は4名まで減った。

これまでに、社員が楽しく生き生きと何でも言い合える会社となるよう98の独自の福利厚生制度を作った(2020年8月現在)。最終的には126の制度を作り、利用状況を見ながら新しい制度に入れ替えていくつもりだ。

特徴的な制度の一例を挙げるト、「有給消化手当」休んで健康プロジェクトは、毎月有給休暇を消化することで10,000円の休暇手当が支給される。また、「医師相談アプリで24時間家族安心制度」は、クラウドで社員が24時間365日無料で医師に体・心の悩みについて相談できる医療相談サービスを、会社が

費用負担する制度である。「ダイヤ得」と制度では、健康診断で太りすぎと判定された場合、減量に成功すれば減った体重に応じて手当が支給される。他にも健康デバイスを会社が半額負担する制度や、インフルエンザの予防接種費用は扶養家族分全額負担する制度など、非常に多岐にわたっている。

家族の健康にも配慮するこれらの制度のおかげで、コロナ禍においても社員は安心して働くことができている。感染防止対策として出退勤時間を早めることや、外出制限時における家族での過ごし方なども、これまでに整備してきた福利厚生制度を活用することで、社員の心の負担も軽減された。

ハード面では、社員の意見を多く取り入れた働きやすいオフィス作りをしている。また、社内は実際にお客さまに使用事例を見てもらえる体験型オフィスとして、最先端の事務機器商品やノウハウを取り入れた。そのため、コロナ禍においてどの企業よりもいち早くWEBによる社内

## 事例紹介1

# 健康経営はコロナ禍にも活用できる

### 株式会社 四日市事務機センター

#### 《企業概要》



代表取締役  
佐野 智成氏



所在地 三重県四日市市日永西2丁目18番地7号  
設立 1974年(昭和49年)  
資本金 1,000万円  
従業員数 30名(グループ全体40名)  
事業内容 オフィス関連のハード・ソフト等の販売・修理・保守・管理、インターネット環境・LAN環境・クラウドシステムの提案・構築  
URL <https://www.yj-c.co.jp>

今年で創業47年になる株式会社四日市事務機センターは、複合機やプリンターなど事務機器の販売・修理を手掛ける企業だ。キヤノンが全国250社超ある販社に対して定める保守認定を14年連続で受けており、2019年度は全国3位という優秀な企業である。

また、経済産業省認定の健康経営優良法人・中小規模法人部門に2020年まで3年連続認定されている。同社が実践する健康経営は多岐にわたり、その取組は生産性の向上、従業員の創造性の向上、企業イメージの向上のほか、コロナウイルスの感染が拡大している中で、働き方の変革にも活かされている。

代表者の佐野智成氏は、10年前に実父である幸男氏から社長を引き継ぎ、社長就任後には次々と社内改革を行った。「お客様に喜ばれる企業になるには、まず社員が楽しく満足して働くことができる企業にならなければならぬ」と「TFS(チ



ム・ファミリー・サテイスファクション)向上推進宣言」126(いいチーム)プロジェクト」を立ち上げた。チーム(社員)・ファミリー(社員の家族)が健康で、満足して働く会社を作ることが目標だ。

まずは革新的な職場づくりを行っている中小企業のノウハウを吸収するため、北海道から沖縄まで、多い時には月に10社ほどを訪問し、いろいろな取組事例を勉強してきた。これまでに140社以上訪問しており、革新的な企業142社をベンチマークとして同社に事例を集約している。

行っている中小企業のノウハウを吸収するため、北海道から沖縄まで、多い時には月に10社ほどを訪問し、いろいろな取組事例を勉強してきた。これまでに140社以上訪問しており、革新的な企業142社をベンチマークとして同社に事例を集約している。

会議や勉強会、在宅勤務の対応を開始。机上のパソコン画面には在宅勤務者がまるでそこにいるかのように映つており、業務遂行に支障はない。自由な席で業務を行うフリーアドレス式を取り入れ、Web会議システム用の部屋などはオフィスと隔離されているなど、オフィスは密回避している。また、衛生面に配慮した掃除ロボットの導入などもコロナウイルス感染防止に役立っている。お客様には自社の実体験を持つ商品説明ができるので、営業にもますます説得力が加わる。ちなみに、オフィス内は中小企業の皆様に参考にしてもらえるように、「健康経営」「福利厚生」「BCP対策」など8種類の見学コースを設定している。

健康経営はコロナ禍によりさらに企業価値を引き上げる、そんな好事例を地で行く同社。経営理念「未来を笑顔に」をもとに、同社はどんな災難にも負けない地域N0.1の企業を目指している。